

●5月31日(土) 害獣予防対策をしました。

参加者：伊藤、太田、大村、播川、吉村、中学生2人（中学生は昆虫観察）

アライグマ対策として、網目ネットを1号地・2号地にも設置しました。ただし、準備していたネットだけではすべてを覆うことが出来ませんでしたので、残りの作業は後日に持ち越しとなりました。また、以前に実施した3号地と異なり、1号地と2号地の間は1m程度の高低差と水路があるため、ネットをしっかりと固定するための対策も併せて実施しなければいけないことも分かりました。他の作業としては、1号地・2号地に植えたナス・トマト・スイカの支柱の管理と5号地に植えているカボチャ畑の除草を実施しました。昨年度は2号地に植えていたカボチャは、たくさんの実りがありそろそろ収穫！というときに、獣害で全滅という苦い経験があります。今年度は5号地に植えていますが、現在は周囲にフェンスなどが無く1号地～3号地と比べて獣害に合いやすい状況であるため、対策を考え実施していかなければなりません。皆様のお知恵を宜しくお願いいたします。

本日実施した網目ネットを張り巡らせる作業は、高低差や水路という障害があり怪我が発生しやすい状況でしたが、安全に気をつけながら作業をしてくださいましたので、無事故で終えることができました。有難うございました。



網目ネットを周囲に張り巡らせています。

里山農園での栽培農業では必要経費への協力金を得るためにより良い作物の収穫を期待したいところです。獣害被害防止のために鉄網補強の網目ネット長さ50mもの2本を張り付けましたが1号地は完成、2号地には50m分が不十分で5号地については検討中で手持ちのネット(50m:1本を保有)では獣害防御は未完成の見通しです。鉄網と鉄筋杭も補充する必要性が生じます。夏野菜植付けが出来上がり、間もなく収穫期が目前にきていますので今年は被害を覚悟のうえでの取組にならざるを得ないと予想するべきでしょうか。今年は具体的にどこまでどのように実施するかの見通しの必要性が感じられます。

●6月4日(水)の事務局会議に京田辺市文化協会の保日部聡実さんが出席されて「ふるさと京田辺を学ぶ講座」について説明にお越しいただきました。

今回の講演会は『京田辺周辺の自然を学ぼう&自然素材で工作を作ろう』として計画されました。里山の会副理事長の森島保さんがこの提案を受けとめて講師役を引き受けてこられました。さっそく講演の筋書きとなるのですが、

“自然を学ぶ”という大変大きく広いもので、これまでの筋書きとは違ってすごく悩みました。はじめに「自然は子供を育てる」として京田辺市の一番は何かに続いて、地形は天井川として内排水と町づくり、養蚕と地域産業、お茶と蚕と古事記、茶色から緑茶、地域の産業。農業では大根と米、続いて木津川では山城大水害とアユ、イタセンパラと中聖牛。植物では普賢寺は京田辺の宝物、木津川に残し

ふるさと京田辺を学ぶ講座 2025

「京田辺周辺の自然を学ぼう&自然の素材で工作を作ろう」開催要項

- 1 趣旨 主に小学生の子供を対象とし、山城地域の自然について講義を通じて学ぶことで地域の生き物、植生などに興味関心を寄せ、ふるさと京田辺の魅力を知る事を目的とする。
- 2 主催 一般社団法人京田辺市文化協会
- 3 後援 京田辺市・京田辺市教育委員会（予定）
- 4 開催日時・内容・場所

日時 令和7年7月26日(土) 10:00~11:30

内容 NPO法人やましろ里山の会から講師を招き、山城地域の自然について講義を受け、保護活動や実情を知ることを通じて自分たちの住む山城地域についての理解を深める。(30分) また身近な自然の材料を使った工作で自然に触れる機会を創出する。(30分) 質疑応答 (30分)

場所 京田辺市立中央公民館 第1研修室
- 5 講師 やましろ里山の会
- 6 会費 300円(工作材料費)
- 7 対象者 主に小学生以上の市内在住、通学、通勤の方
- 8 申込方法

7月1日より
申し込みフォーム、またはTELにて受付
- 9 締切日: 7月20日(金) 正午
- 10 受付人数 20名(多数の場合増枠)
- 11 問い合わせ先 一般社団法人京田辺市文化協会

住所 〒610-0331 京田辺市田辺丸山214番地
電話 29-9118 FAX 29-9119
メール kyotanabe-hunka@outlook.jp
ホームページ <https://kyotanabe-hunka.jp/>



たい植物。動物ではイノシシとアライグマや国蝶オオムラサキ、やまどりとタマムシ、絶滅寸前種のヤマトサンショウウオやレンリソウなどの木津川の8種の植物、そして最後に京田辺小学校の校歌紹介と描かれている自然を知るとのプランを着想しました。会員の皆様には補充すべき点があればご教授をお願いいたします。

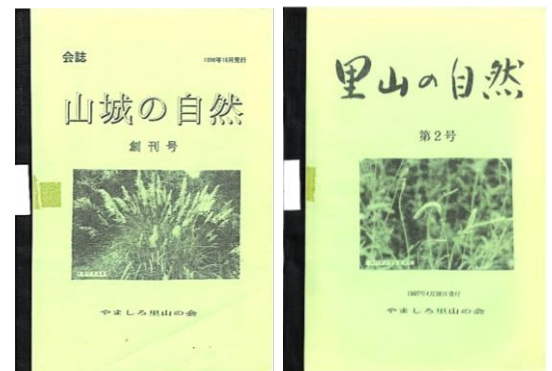
●京田辺市中央図書館に会誌を寄贈

先日、これまで中央図書館に寄贈してきた会誌が17号近くからされていない事が判明して不足分を届けましたが、58号の内4冊ほどが発見できませんでした。これを知った副理事長の森島保さんが自宅で揃えていたものの中から、足りなかった4冊を抜き出して、提供していただいたので中央図書館に寄贈しました。これで里山の会の会誌「里山の自然」58巻が勢ぞろいできることになりました。貴重なセットから提供されたことに心からお礼申し上げます。これで市民の皆さんに、会活動への理解を正確に深めていただくことが可能になりました。

●木津川希少種植物調査管理業務の第1回打合せ会議が5月29日(木)10:00から開かれました。

里山の会からは播川、森島、太田が参加し、国交省側からは松本環境課長 正樹水質調査係長 重定毛馬出張所係長 西田木津川出張所所長に出席していただきました。

出席者の自己紹介や草刈り業者2社の作業範囲の確認と里山の会の次回作業打合せ会日程調整を行いました。また里山の会から希少生物の発見や保全について話題の他、前年同様報告書作成について重定係長の協力をお願いしておきました。



●総会決定の2025年度主なイベント開催計画の6月7日(土)のイタセンパラ調査及び昆虫観察会は諸都合のために中止といたしましたので、ご了解ください。

期待されている皆様には6月14日(土)集合16:00里山農園で行います「ホタルの集いと里山音楽会」において里山農園付近で昆虫観察会も準備していますのでよろしくお願いします。また翌15日には、桜谷先生と一緒にミドリシジミの調査が計画されていますので、興味のある方は同行していただいて結構です。参加される方はやましろ里山の会にご連絡下さい。日程などが決定されると週刊ニュースでお知らせいたします。よろしくお願いします。お問い合わせは事務所まで(0774-64-4183)



ミドリシジミ蝶の発見を期待

ホタルの夕べと里山音楽会

今年もホタルが飛び交う季節になりました。どんどん変わっていく世の中ですがホタルはずっと生き続けています。発光する昆虫の光を守っていきたいと思います。みなさんとホタルの光を眺めながら素敵な夜を過ごしましょう。

今年も 沖縄・三線バンド「キジュー」さんにお越しいただきます。楽しい時間をお楽しみに。

6月14日(土) 少雨決行

会場 やましろ里山の会、里山農園 京田辺市龍賢寺水取盛谷
(龍賢寺小学校前15:45集合)

募集 15組 参加費 無料
やましろ里山の会のホームページから申し込んでください
子どもだけの参加はできません。保護者同伴でお越しください。

持ち物や服装
懐中電灯 長靴・靴 長ズボン・長そで 軍手 帽子 てぬぐい うちわ 夜のはん 水筒
昆虫飼育ケース 防虫対策 (トイレは済ませてお越しください。簡易トイレ有)

プログラム
16:00 受け付け開始
16:30 開会 あいさつ 日程紹介
17:00 白土山歌集 クワガタムシと遊ぼう(持ち帰り可)
18:30 夕食タイム(各自持参の夕食をとる)
19:00 沖縄 三線演奏 キジュー 代表 木下勉 他6名
20:00 ホタル鑑賞
20:30 解散

主催 NPO やましろ里山の会
住所 京田辺市田辺深田15 0774 64 4183